

厳選良問

～ フェイントが入った基礎問題 ～

分野

介護技術分野

出典

社会福祉士試験(第30回-問題129)

問題

問題 右片麻痺で嚥下機能が低下した状態にある人に対する食事介護の在り方として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 食形態は、きざみ食が適している。
- 2 食前に嚥下体操を行う。
- 3 食事の時は、左側にクッションを入れ座位姿勢が保てるようにする。
- 4 右側から食事介助をする。
- 5 口腔内の右側に食物残渣がないか確認をする。

ポイント&解答

資格別試験対策

社会福祉士	精神保健福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	保育士
★★	★★	★★★	★★	★★

注) ★★★…必ず学習!! ★★…できれば学習! ★…余裕があれば確認 ×…学習しなくてOK

試験対策ポイント解説

右片麻痺の食事介護に関する問題は、介護福祉士では毎年のように出題されている定番問題です。今回の社会福祉士試験だけでなく、介護支援専門員試験などでも出題されるので、食事介護の方法はしっかりと学習しましょう。

今回の問題は、片麻痺の利用者の食事介護の基礎問題だといえます。ただし、選択肢4と選択肢5の関係性がトリッキーでしたね。

右片麻痺のような同一条件を問題で設けた場合は、アプローチ(右側 or 左側)も同じであることが多く、選択肢4と選択肢5は同じ解答(O or X)になりやすいのですが、その法則にはまらないように作られています。良いフェイントですね。

この問題にかぎらず、介護技術系の問題を解く際は、「利用者のできない部分を補完することが基本」ということを覚えておくと、正解が結構絞り込めます。今回の問題の場合も、選択肢3～5はこの基本に沿って解くことができるといえますので、この基本も忘れずにいてください。

解答

2, 5

